

子ども・子育てマップ

名古屋市内にも子どもたちの成長を見守り、お父さんお母さんをサポートしてくれる、施設や活動がたくさんあります。スタッフさんと仲良くなったり、子どもを通して友達ができたり、子どものあそび姿を客観的に見守ることができたり……。地域とつながることで、子育てがもっと楽しくなりますよ。お近くの施設・活動にぜひ足を運んでみてくださいね！



子ども・子育てサポート施設

子育て応援拠点やプレーパークってどんなところ？ 実際に行ってみたら、その活動の意味や良さがわかるのですが、知らなければイマイチ何をするとところなのか、わかりにくいですね。どの施設・活動にも共通するのは、一人ひとりの居場所づくりをしているということ。人とつながり、私がわたしでいられる安心できる場所が、地域にたくさんありますよ。

758キッズステーション

子育て家庭が孤立せず誰もが安心して子育てできるよう、子育て家庭を社会全体で支える仕組みをつくるためにできた、全国的にも珍しい市民・企業・行政が連携して運営する、名古屋市の子育て支援の中核施設です。親子で遊べるキッズパーク、託児ルームなどが利用できるほか、情報コーナーも充実！ 子育てコンシェルジュに相談すれば、子育ての悩みから地域の情報まで幅広く聞くことができます。

児童館

0歳～18歳の子どもとその保護者なら、無料で誰でも自由に遊べる施設です。午前中は乳幼児、放課後は小学生以上の子どもたちで賑わっています。季節の行事やクラブ活動、中高生の居場所作りも行っています。冒険遊び場を併設していたり、老人福祉センターと同施設で多世代交流があったりと、それぞれの児童館が工夫をこらしながら活動。いろんな年齢の子どもたちに出会えるのも魅力の一つですね。

子育て応援拠点

妊婦さん～3歳未満の子どもと保護者を対象に、地域の子育てサポートの中核拠点です。現在市内に11箇所あり、全区への配置を目指しています。子育て支援員や子育て応援コーディネーターが常駐。気軽に子育ての相談ができ、子育てしやすい環境を一緒に考えてくれます。イベントや講座などが随時開催されていて、同年齢の子どもを持つ保護者の交流の場になっています。応援拠点では一時預かり事業も行っていて、遊び慣れた「いつもの場所」での預かりは親子にとって安心ですね。

プレーパーク

冒険遊び場とも呼ばれるプレーパークは「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに、手作りの遊具や焚き火など、子どもの「やってみよう」を大切にしたい屋外の遊び場です。プレーリーダー（プレーワーカー）と呼ばれるあそび環境づくりのプロフェッショナルが場づくりをしています。名古屋市内には常設の「てんぱくプレーパーク」をはじめ、児童館併設や月一開催のプレーパークなど、いろいろな形の活動があります。どろんこになることも多いので、着替えを忘れずに！

子育て支援拠点 子育て支援センター

子育て応援拠点と同じく、妊婦さん～3歳未満の子どもと保護者が気軽につどい交流できる場です。中学校区に1カ所以上の配置を目指して、現在市内に97カ所あります。（Googleマップ版に掲載しています。）
応援拠点よりも規模が小さく、一時預かり事業は行いませんが、気軽に歩いて行けるところに子育てをサポートしてくれる施設があるのはとっても安心ですね。

自主保育

主に野外を拠点に、保護者同士が交代で子どもたちを預かり合う保育活動のこと。保護者による運営が主体ですが、活動形態はさまざまで、保育士が引率するスタイルもあります。通常の幼稚園・保育園との大きな違いは、子どもと保護者が主体であるということ。保護者からすると「預かりサービス」になってしまいがちな施設保育と違い、子どもの成長に真正面から向き合い、他の家庭の子どもの成長も一緒に見守ることで、親として学び成長できる場でもあります。